小学校「第３学年」音楽科学習指導案

指導者　三次市立三次小学校
教諭　松田　啓子

１　概要　○　日時：平成17年10月27日（木）9：30～10：15
○　対象：第３学年２組（24名）
○　場所：三次市立三次小学校　音楽室

２　題材名

「ワンダフル！　ＭＩＹＯＳＨＩ」
～「三次の四季」を音楽で表現しよう～　（全７時間扱い）

３　学習指導要領の内容との関連

Ａ　表現　（３）イ　音色に気を付けて，旋律楽器及び打楽器を演奏すること。
（４）ア　音の組み合わせを工夫し，簡単なリズムや旋律をつくって表現すること。
（４）イ　即興的に音を選んで表現し，いろいろな音の響きやその組み合わせを楽しむこと。
Ｂ　鑑賞　（１）イ　主な旋律の反復や変化，副次的な旋律，音楽を特徴付けている要素に気を付けて聴くこと。

４　題材の目標

○　自分たちの思いやイメージをもとに，進んで簡単なリズムや旋律をつくることを楽しむ。
○　イメージに合うリズムや旋律をつくったり，リコーダーや鍵盤ハーモニカなどの楽器を用いて音の組み合わせを工夫したりして表現する。
○　曲を特徴付けている諸要素に気を付けて，イメージを広げながら聴き，そのよさや美しさを味わう。

５　題材設定の趣旨

（１）題材観

本題材は,美しい三次の四季のイメージを豊かに広げて簡単なリズムや旋律づくりをさせ,それに合う音を自ら選び，重ねたり，組み合わせたりしてできる音の響きを楽しみながら,感性を高め，表現する力を育てることをねらいとして設定した。

三次は，美しい自然に恵まれ，古くからの伝統行事も豊富にある地である。春には桜，夏にはきんさい祭りや鵜飼，秋にはあざやかな紅葉，幻想的な霧の海，そして，冬には雪景色など，四季折々の自然の移り変わりを楽しむことができる。児童も，数々の伝統行事に地域の一員として参加し，この四季の移り変わりを肌で感じている。

季節や風景などの情景を表した描写音楽は，情景から得たイメージを音で構成し,「○○らしさ」として実感できるものである。すなわち，音楽の諸要素をどのように組み合わせれば,その「○○らしさ」のイメージに近付くことができるのかを体験させることが重要である。

そこでは，音楽の諸要素を扱いながら，その特性に気付くことや，それらを生かして音楽に表情をつける力を身に付けさせることが必要となる。

そのため，本題材では，子どもたちの周りにある三次の四季の情景をテーマとし，表現したいイメージを具体的にもたせ，イメージに合った旋律づくりや音選び，音の響きを探す中で，リズム・強弱・速度・音色などに対する感性を高めることができると考える。

（２）児童観

本学級の児童は，音楽が好きである。日常的に歌を歌ったり，楽器を演奏したりする活動に取り組んでおり，音楽に親しみを感じ，授業にも意欲的に取り組める児童が多い。

「音楽をつくって表現できるようにする」活動は，１学期に「魔法をかける時の音づくり」でイメージに合う表現の仕方を学習した。「このように表現したい」というイメージをもつことで，強弱や音の重なり，響きなどが，児童の音楽表現の中に自然に生かされていた。そこでは，二つのグループにおいて，音づくりにとどまらず，音楽として構成し表現できていた。

また，「きれいな音でふきましょう」で，リコーダーを使っての簡単な旋律づくりも学習している。

これらの学習を通して，友だちの表現の工夫に気付くとともに，そのよさについても少しずつ感じ取ることができるようになってきている。しかし，一人では演奏できない児童や，創作表現に苦手意識をもっている児童も数名いる。これは，楽器演奏に対して抵抗があったり，自分の想いをみんなの前で表現することに恥ずかしさを感じていたりすることによると考えられる。

そこで本題材では，一人での活動を取り入れながら，友だちと一緒にイメージをさらに広げ，膨らませ，旋律づくりにとどまらず，より豊かな音楽表現に発展させていく活動を体験させたい。

（３）指導観

指導に当たっては，まず，児童のイメージを豊かに広げるために，今まで体験したことをしっかり語らせたい。また，ポスターや写真，三次どんちゃんの踊りや鵜飼のビデオなども視聴させ，一人一人のイメージを膨らませたい。

次に，一人一人が自分のイメージを簡単な旋律で表す活動に取り組ませる。その際，音がふしになるためのルール（上向形・下降形など）を取り入れて，手がかりとさせたい。自分なりの旋律をつくることで自信を持たせ，次の音楽表現の意欲へとつなげたい。そのうえで，一人一人の音楽を大切にしながら，友だちと音を重ねたり組み合わせたりすることにより，一人ではつくれない響きに気付かせたい。そして，その響きから新たな音楽のイメージを膨らませ，それにふさわしい音楽表現をさらに創意工夫するといった，児童の主体的で創造的な音楽づくりの活動を展開したい。

６　教材と教材選択の理由

（１）教材名

《楽器》箏（こと）　リコーダー　ハンドベル　鍵盤ハーモニカ　電子オルガン
　　太鼓　あたりがね　シンバル　クラベス　木琴　ビブラフォン　など
《楽曲》バレエ音楽「四季」　グラズノフ作曲

（２）教材選択の理由

バレエ音楽「四季」　グラズノフ作曲　B（１）イ

ロシアの大地に繰り広げられる四季の自然を表情豊かに表した作品である。四季の特徴的な様子を，美しい旋律と音色で表現しており，イメージを豊かに広げて聴くことができる楽曲である。

7　題材の評価計画

（１）題材の評価規準　　□　Aと判断する子どもの姿

	ア　音楽への関心・意欲・態度	イ　音楽的な感受や表現の工夫	ウ　表現の技能	エ　鑑賞の能力
歌唱				
器楽	○	◎	○	
創作	◎	○	○	
鑑賞		○		○
題材の評価規準	進んで音楽づくりにかかわり，表現しようとしている。	表現したいことについてイメージを広げ，それを生かした音楽づくりの仕方を工夫している。	簡単なリズムや旋律をつくって表現するとともに，いろいろな音の響きや組み合わせを工夫し表現している。	楽曲を特徴付けている諸要素に気付くとともに，曲が表しているイメージを感じ取って聴いている。
学習活動における具体の評価規準	①　簡単なリズムや旋律をつくって表現することに関心を持ち，音楽づくりを楽しんでいる。 □　自分なりの工夫を加えて，積極的にリズムや旋律づくりをしている。 ②　イメージを豊かに膨らませ，友だちと協力して，音楽づくりを進めようとしている。 □　イメージを膨らませるために，積極的に意見を	①　様々なリズムや旋律，音の組み合わせを生かした表現の仕方を工夫している。 □　音の出し方や響きにこだわって表現の仕方を工夫している。 ②　自分たちの表現したいことについての思いやイメージを広げて音楽づくりの仕方を工夫している。 □　表現したいことについて積極的に音楽的なアイデアを出して	①　音やリズムの組み合わせを工夫して，短い旋律をつくっている。 □　音やリズムの組み合わせにこだわって旋律づくりをしている。 ②　表現したいことのイメージを広げ，音の響きや組み合わせを工夫して表現している。 □　積極的に音の響きや組み合わせを工夫し，音楽の諸要素にこだわりながら練習している。	①　音楽の諸要素に気付くとともに，「○○らしさ」を感じ取って曲を聴いている。 □　曲を特徴づけている音楽の諸要素のかかわり合いを感じ取り，曲が表すイメージと結び付けながら，聴いている。

	出している。	いる。 ③　友だちの表現から，そのよさを感じ取って聴いている。 □　表現を特徴付けているリズムや旋律に気付き，それらのかかわり合いのよさを感じ取って聴いている。		

（２）評価方法

A　ビデオ撮影　　B　学習カード　　C　感想発表　　D　表情や態度の観察
E　演奏の聴取　　F　グループ活動の観察

８　指導と評価の計画（全７時間）

次	過程	ねらい，働きかけ等	学習活動の流れ（○）と 予想される児童の反応（◇）	具体の評価規準	評価方法
第一次（1時間）	つかむ	○　「三次の四季」の音楽づくりについて，グループごとに計画を立てる。 	「三次の四季」を音楽で表現しよう。 ○　季節をイメージした鑑賞曲「四季」のうち，『春』を聴き，気付いたことを話し合う。 *◇秋らしい曲だったよ。* *◇ゆったりとした音楽だから秋らしいと思うよ。* *◇使われている楽器が秋の様子を表すのにぴったりだったよ。* ○　「三次の四季」について思い浮かぶことを話し合う。 *◇春は学校の前の桜がきれいだよ。* *◇花びらが散るのを手で受け止めて遊んだことがあるね。* *◇夏のきんさい祭りにどんちゃんで参加して楽しかったよ。* *◇秋に霧の海を見に行ったことがあるよ。* *◇冬は雪遊びができるね。*		

		 	○　各グループに分かれて，春，夏，秋，冬を音楽で表現する計画を立てる。 春グループ ◇*桜がきれいなことを伝えたいな。* 夏グループ ◇*「どんちゃん」の生き生きとしたリズムを表したいな。* 秋グループ ◇*霧の海の不思議で静かな感じを表したいな。* 冬グループ ◇*雪あそびが楽しかったことを表したいな。*	ア②	F
第二次（2時間）	つくる	○　グループごとに簡単な旋律やリズムをつくる。 **どんな旋律だったら，その季節のイメージが表せるかな。** **どんな楽器を使ったら旋律がつくりやすいかな。** 	**グループごとに，イメージにあう旋律やリズムをつくろう。** ○　まず，一人でつくり，それを持ち寄り，グループで音の組み合わせを生かしながら，イメージに合う旋律やリズムをつくる。 （一人で→グループで） 春グループ ◇*桜の花がひらひら散るのを表したいから，だんだん音が低くなるのはどう？* ◇*リコーダーで旋律をつくってみたいな。* 夏グループ ◇*どんちゃんは同じリズムが繰り返されているよ。ちょっとリズムや強弱を変えたらどうかな。* ◇*太鼓やかねを使おうよ。*	ウ① イ① ア①	B D D

			秋グループ ◇*オルガンで音さがしをしてみたらどうかな。* ◇*ゆったりした感じで表現するといいと思うよ。* 冬グループ ◇*かけ声を入れると楽しいようすが表せるんじゃない。* ◇*歌詞もつけてみたいな。*		
		○　それぞれの季節のイメージに合う表現方法を工夫する。 **どんな音を組み合わせたら，自分たちのイメージが伝えられるかな。** **音の響きにも注目してみるといいよ。**	○　イメージに合う表現方法を工夫する。 ◇*音を響かせてみよう。* ◇*リズムをかえてみたらどうだろう。* ◇*ゆっくり演奏した方が静かな感じが表せるよ。* ◇*強弱をはっきりさせると，イメージに合ってくるよ。*	イ②	F
第三次（2時間）	工夫する	○　他のグループの表現や，友だちの意見を参考にしながら自分たちの音楽を練り直す。 **グループの音楽のいいところを見付けてみよう。** **友だちの意見や他のグループの演奏を参考にしながら自分たちの音楽をさらにすてきにしよう。** **イメージを伝えるためもっと工夫したらいいところがありますか。**	**自分たちの音楽をもっとすてきにしよう。** ○　友だちの発表のよいところを見付ける。 ◇*雪遊びの楽しい感じを〇の楽器で表していたのがよかったよ。* ◇*旋律が，桜が散る感じでいいと思うよ。* ○　友だちの意見を参考にして，自分たちの音楽を練り直す。 ◇*もっとゆっくり（速く）演奏してみたらどうかな。* ◇*太鼓をたたくとき，もっと強弱をはっきりつけたらよくなると思うよ。*	イ③ イ②	D E D E

		めあてをはっきりさせて，工夫も加えながらくり返し練習しましょう。	○　各グループでさらに表現方法を工夫する。 ◇*他の楽器を加えてみよう。* ◇*マレットやばちをかえてみたら音がかわったよ。* ◇*おいかけっこみたいにしてみたら，花びらがどんどん散っていく感じになりそうだね。*	ウ②	E F
第四次（2時間）　**本時**　1／2	味わう	○　つくった音楽をイメージが伝わるように表現したり，鑑賞したりする。 **工夫してきたことを生かして演奏しよう。** ◎　**本時**	きいて！きいて!! 「わたしたちのＭＩＹＯＳＨＩ！ *春夏秋冬バージョン*」 ○　グループごとの音楽をつなげて表現し，「三次の四季」を仕上げる。 ◇*どのグループも，イメージに合う音楽づくりを工夫していたね。* ◇*音楽づくりってたのしいね。* ◇*３年１組との交流会をひらきたいな。* ◇*全校のみんなにも聴いてほしいな。*	イ②	A D E
		○　音楽の諸要素を感じながら，鑑賞曲全体を味わって聴く。 **前に聴いたときと比べて，新しい発見があるかな。**	イメージを広げて聴こう。 ○　鑑賞曲「四季」を聴き，気付いたことを話し合う。 ◇*フルートの音色が小鳥の鳴き声を表していると感じたよ。* ◇*ゆったりとしたテンポなので，春のおだやかな感じがわかるよ。* ◇*チョウチョが追いかけっこしているようなメロディだと思ったよ。*	エ①	C D

9　本時の学習（第四次　１時間目）

（１）本時の目標

つくった音楽のイメージが「○○らしく」伝わるように，「わたしたちのＭＩＹＯＳＨＩ！*春夏秋冬バージョン*」を表現する。

（２）準備物

四季の絵，三次のポスター，各グループで決めた楽器，学習カード

（３）本時の展開

学習内容・学習活動 ☆：教師の働きかけ　★：児童の行動・発言・つぶやき	指導上の留意点	評価規準
1　音楽ゲームをする ○音当てクイズ，リズムリレーなど	・　楽しい雰囲気をつくると同時に学習への意欲を高める。	
2　既習曲を歌う ☆　歌詞を大切にし，響きに気を付けて歌いましょう。 ★　*やさしい感じで歌いたいな。* ★　*やわらかい声で歌いたいな。*	・　やわらかい声で歌うよう，口の形や表情に気を付けさせる。 ・　歌詞の意味を考えながら，歌わせる。	
3　みんなで演奏する部分を練習する。		
4　本時のめあてをつかむ きいて！きいて!! 「わたしたちのＭＩＹＯＳＨＩ！　*春夏秋冬バージョン*」		
☆　今日は「○○らしさ」が聴いている人に伝わるように発表しよう。	・　前時の流れを掲示しておき，どの部分に当たるのかを視覚的にとらえさせる。	
5　「春夏秋冬」の順に演奏する。 ☆　グループで聴いてほしいところをアピールして発表しよう。 ★　春グループは，桜の花びらが散る様子をことで表したよ。 ★　夏グループは，どんちゃんのリズムを強弱をつけて楽しい感じを表したよ。	・　何の音をどのように表しているのか，グループごとに発表させてから演奏をさせる。	
6　学習カードに書く。 ☆　いちばん○○らしさが表れていていいと思ったグループと，その理由を書きましょう。 ★　秋グループの演奏は，音の重なりが不思議な感じがして，霧の海のイメージがよく伝わるな。 ★　冬グループは，もっとゆっくり演奏すると，静かに雪が積もる感じがより出せるよ。	・　音楽の諸要素に気を付けて，感想を書かせる。 ・　それぞれのグループの演奏の特徴に気付き，速さ・強弱・旋律・音の組み合わせなどに目を向けた感想を紹介する。	イ③
7　グループごとに練習する。	・　学習カードに書かれた意見を参考にして，「○○らしさ」の特	イ②

	徴がより表現できるように，重点的に練習させる。	
8　「わたしたちのＭＩＹＯＳＨＩ　春夏秋冬バージョン」演奏会を開く。	・　最終的な打ち合わせを短い時間でさせ，演奏させる。 ・　グループごとの表現の場所や形態を工夫することで，季節ごとの表現がとぎれないようにし，「わたしたちのＭＩＹＯＳＨＩ　春夏秋冬バージョン」がひとつのまとまりのあるものになるようにする。	
9　学習カードを書く。		
10　次時の予告を聞く。	・　意欲を喚起するような言葉がけを行う。	